

設備

駐輪場の管理状況について

当面駐輪場変更計画はない

問 町内のJR各駅には、駐輪場が設置され、通学や、通勤者等で使用されています。しかし、現実的には放置されている自転車かなりの台数があるように感じます。日々の管理状況等についてお尋ねいたします。

町内のJR各駅には、駐輪場が設置され、通学や、通勤者等で使用されています。しかし、現実的には放置されている自転車かなりの台数があるように感じます。日々の管理状況等についてお尋ねいたします。

答 稲永地域振興課長
町内には、JR新原駅・須恵中央駅・須恵駅があります。各駅に駐輪場が設置され、多くの方が利用されていますが、日常的に放置自転車や決められた場所に止めないなどのマナーの悪さも目立っています。

特に、平成27年以降の駅員無人化に伴いその傾向が顕著にあらわれ、現在では管理全般について町が対応しているところでは、
放置自転車については、年度が替わる時期や住民からの通報時に現地を確認し、「注意喚起・処分予告」の張り紙を貼付しています。その後、警察へ防犯登録の照会をするなど対応しており、放置自転車を定期的にな

くしていくことが、駅周辺の環境美化にも繋がっていくと考えています。

県道拡幅工事に伴う駐輪場の変更については、現道路用地内での改良となるため、須恵中央駅の駐輪場の変更等が計画されることはありません。



答弁中の中嶋町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。



猪谷 繁幸 議員

置自転車については、年度が替わる時期や住民からの通報時に現地を確認し、「注意喚起・処分予告」の張り紙を貼付しています。その後、警察へ防犯登録の照会をするなど対応しており、放置自転車を定期的にな



多くの利用がある須恵中央駅駐輪場（平成30年3月9日撮影）

ここが聞きたい！

一／般／質／問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

子育て

子どもの居場所づくり事業の今後は

継続してやっていきたい

問

子どもの居場所づくり事業が始まり、2年が経過しようとしています。子どもの数も年々増え、子供達も楽しくすごしており、内容も充実していると感じています。この事業は、3年間の補助金で運営していますが、のこり1年となりました。シルバー人材センターに委託しており、高齢者の方々も楽しく活動されています。補助金がなくなつた

後も、継続してほしいとの声があがっています。今後の取り組みについてお聞きします。

答 安河内教育長
居場所づくり事業は、平成28年度からシルバー人材センターに委託し、オイコスを拠点に、長期休業中の夏休み、冬休み、春休みの年3回実施し年々申込者も増えていきます。事業費は、国庫補助金及び町委託金がそれぞれ60万円、保護者負担金を含めた総事業費が200万円となります。



今村 桂子 議員

事業継続のためには、平成30年度で終了する国庫補助金をどう補填するか、今後事業内容を精査し本年度中に方向性を示したいと考えています。

教育

不登校児対策の現状は

支援チームで対応

問

不登校児に対応するため、やまももルームが開設されて2年になります。場所も、役場近くのアパートの一室から、第一小学校の旧学童の後に移転して1年が経過しました。不登校の現状、最近のやまももルームの現状、今後の取り組み、課題などについてお聞きします。

答 安河内教育長
不登校児童生徒数は、平成30年1月末現在で小学校5名、中学校38名となっています。不登校への対応は、県の指針に基づいて進めており、遅刻数や保健室への来室が増えたなどの兆候が出た段階で、

専門的な支援チームを組織し柔軟に対応しています。

やまももルームについては、支援員3名体制で、ルームの開室日は原則学校と同じで、開室時間は9時30分から15時までと学校の児童・生徒と接触がないよう配慮しています。

個々の児童生徒にあった活動内容にするためには受容と共感など寄り添った支援が必要で、今後は児童生徒だけでなく、保護者に対する支援も充実させたいと考えています。

答 中嶋町長
この二つの事業については、補助金が終了しても継続してやっていきたいと思えます。

不登校児童生徒数は、平成30年1月末現在で小学校5名、中学校38名となっています。不登校への対応は、県の指針に基づいて進めており、遅刻数や保健室への来室が増えたなどの兆候が出た段階で、

この二つの事業については、補助金が終了しても継続してやっていきたいと思えます。